

高知県感染症発生動向調査（月報）

2023年3月

高知県感染症情報センター

高知県衛生環境研究所

TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>

E-mail: 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

全国情報

第9週(2月27日～)から第13週(～4月2日)までの5週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における3月の上位6疾患の合計は4週間に換算すると57.50で2月の82.84と比べて減少した。3シーズンぶりに流行したインフルエンザは減少に転じた。同時期を過去10年間で比較すると新型コロナ流行が始まった2020年以降では最多だったが、コロナ前と比べると少ない。

1位はインフルエンザで4週換算値が32.15で2月の49.45(2月1位)と比べて減少した。2位は感染性胃腸炎で20.10(同2位28.66)と減少した。3位はA群溶血性レンサ球菌で2.02(同3位1.86)と横ばいだった。4位はRSウイルス感染症で1.58(同4位1.25)と増加した。5位は突発性発疹で0.87(同5位0.84)、6位は流行性角結膜炎で0.78(同6位0.78)とともに横ばいだった。

〈全国の新型コロナウイルス感染症 COVID-19〉

現在まで2類感染症として扱われてきたが、GW明けの5月8日から5類感染症に変更される。2022年1月の第6波、7月の第7波、10月に始まった第8波は、いずれも流行株はオミクロン(○)株であるが、亜種がBA.1.1→BA.2→BA.5へと主流が置き換わりながら、感染力を強めている。第8波は、軽症化したが増したBA.5により、これまでで最多の1日死亡者数を記録する日々が続いたが2023年1月以降は落ち着いてきている。

2023年3月10日を最後に、厚労省は世界の情報公表の更新をしていない。3月10日時点での世界の感染者数は6億7,492万人、死者679万人を超えた(図1)。4月5日現在の国内の感染者数は33,225,864人、死者は73,389人である。感染者数において日本は世界第6位である。

経時的な年齢階層別患者数を図2Aに、4月6日の時点で累積感染者数が人口に占める割合を図2Bに示す(総務省統計局作成の2021年8月現在人口推計を用いて算出<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/pdf/202108.pdf>)。感染者の割合は、10歳未満がトップで41.93%(100人当たり41.93人が感染済み)、次いで10代が39.15%、20代が35.80%と続いている。○株になって「年少者ほどかかりやすい感染症」に変わった理由は明らかでない。

COVID-19は高齢になるほど重症化しやすいが、第6波以降に致死率が低下した。δ株が流行した2021年8月-9月までと、○株による第8波まで(本年3月のデータ)とで致死率を比較すると、80代以上 約15.0%→3.0%、70代 5.0%→0.8%、60代 約1.3%→0.2%と低下しており、○株になって明らかに軽症化した。

コロナワクチンについては、成人に対するブースター接種が進められ、2022年3月から5-11歳の小児への接種が、同10月24日から6か月-4歳への接種(努力義務)が開始されたが、接種率は伸び悩んでいる。同時に○株対応のワクチンも接種が進められている。

表1 各週定点当たり報告数(全国)

No	疾病名	週	9週	10週	11週	12週	13週	計
1	インフルエンザ		10.17	11.10	8.42	6.44	4.06	40.19
2	感染性胃腸炎		5.95	5.88	5.36	4.21	3.73	25.13
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.48	0.52	0.52	0.48	0.52	2.52
4	RSウイルス感染症		0.34	0.35	0.39	0.42	0.48	1.98
5	突発性発疹		0.21	0.21	0.23	0.20	0.24	1.09
6	流行性角結膜炎		0.19	0.20	0.20	0.16	0.22	0.97

県内情報

1. 全国との対比（定点当たり報告数）

感染症法5類疾患で定点報告が必要な感染症については、上位6疾患の報告数を4週間に換算すると39.42（2月73.73）と減少し、全国よりも少なかった（表2）。高知県においてもインフルエンザの流行が始まり、全国に比べると小さな流行でおさまりそうである。同時期としては新型コロナ流行が始まって最も多かったが、コロナ前と比べるとまだ少ない。

高知県における3月の上位6疾患は次のとおりである。1位はインフルエンザで18.76（同1位40.38）、2位は感染性胃腸炎で16.59（同2位29.14）と減少し、いずれも全国よりも少なかった。3位はA群溶血性レンサ球菌で1.43（同3位1.38）と横ばいで全国よりも少なかった。4位はRSウイルス感染症で0.94（同4位1.11）と減少し、全国よりも少なかった。5位は手足口病で0.86（同5位0.89）と横ばいで唯一全国（4週換算値：0.30）よりも多かった。6位は突発性発疹で0.83（同6位0.83）と横ばいで全国と同等だった。

〈高知県のCOVID-19〉

高知県におけるCOVID-19の月別患者数と死亡者数を図3に示す。δ株流行による第5波のピークは2021年8月で1,382人/月だった。ο株の亜型BA.1流行による第6波のピークは2022年2月の5,971人で、ο株亜型BA.2の流行による第7波のピークは同8月の41,283人/月であり、拡大の一途をたどった。しかし、ο株亜型BA.5による第8波のピークは同12月の25,496人/月にとどまり、さらに1月下旬から減少に転じ現在に至っている。3月31日の時点では感染者は先月から1,549人増えて169,356人となり、死亡は先月から15人増えて597人となった。

2022年1月以降に高知県で検出・解析されたウイルス変異株の内訳を図6に示す。ο株の亜種BA.5が2022年6月22日に県内で初めて検出され、7月中旬以降の主流株に置き換わり、さらに新たな亜種BQ.1が12月15日に本県で初めて検出され、2月20日にさらに1件検出されたがBA.5にとってかわるところには至っていない。

県の対応ステージは、以下の通りで、とくに2022年は対応ステージが目まぐるしく変更された。

2021年 8月19日～「非常事態（紫）」、10月28日～「感染観察（緑）」、
 2022年 1月7日～「注意（黄）」、同14日～「警戒（オレンジ）」、同20日～「特別警戒（赤）」、さらには、2月12日～3月6日「まん延防止等重点措置」、3月24日～「警戒（オレンジ）」7月29日～「特別警戒（赤）」、8月16日～「特別対策（紫）」・「BA.5対策強化宣言」、9月16日～「特別警戒（赤）」、同26日～「警戒（オレンジ）」、10月6日～「注意（黄）」、11月17日～「注意（黄）」（県の対応ステージの運用が見直された）、12月9日～「警戒強化（赤）」、
 2023年 1月11日～「対策強化（紫）」、1月27日～「警戒強化（赤）」、3月29日～最も低い「感染観察（緑）」に引き下げられた。

2023年3月26日時点で、県下で3回目接種を受けた者（5歳以上）が69.6%、4回接種を受けた者が51.2%、5回接種を受けた者が28.0%である。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	9週	10週	11週	12週	13週	計
1	インフルエンザ		7.87	6.56	3.60	3.18	2.24	23.45
2	感染性胃腸炎		6.26	5.85	3.85	2.89	1.89	20.74
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.33	0.56	0.41	0.19	0.30	1.79
4	RSウイルス感染症		0.22	0.52	0.26	0.11	0.07	1.18
5	手足口病		0.07	0.26	0.22	0.19	0.33	1.07
6	突発性発疹		0.15	0.11	0.26	0.22	0.30	1.04

図1. 2023年3月10日時点での COVID-19（厚生労働省 HP から）

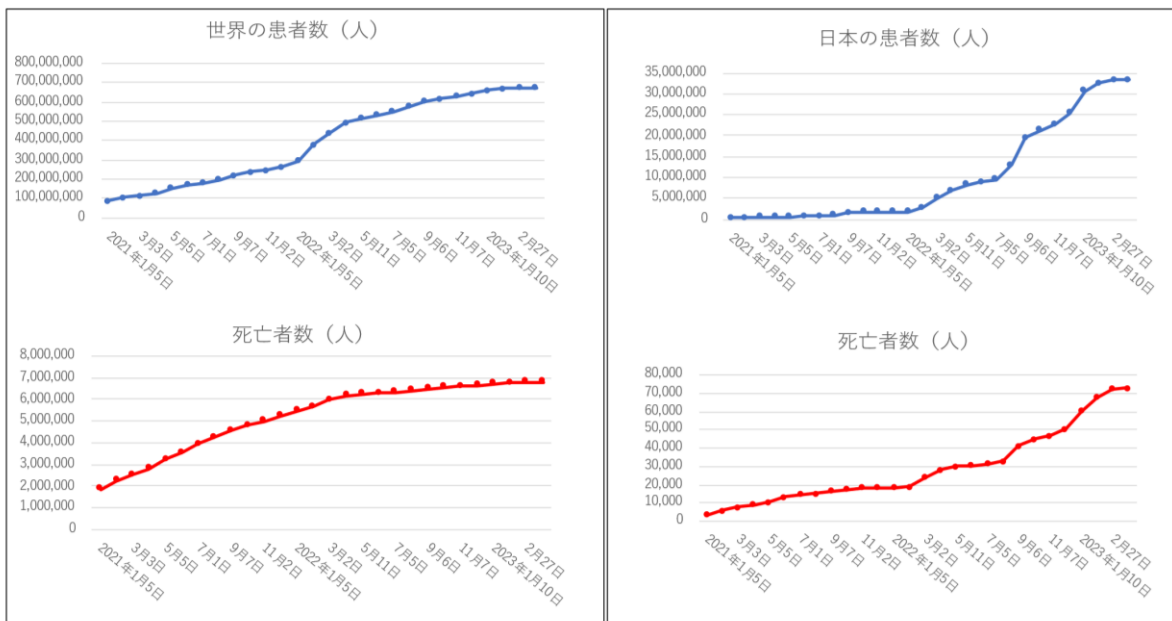


図2A. 年齢別感染者数の推移R5.4.6時点)

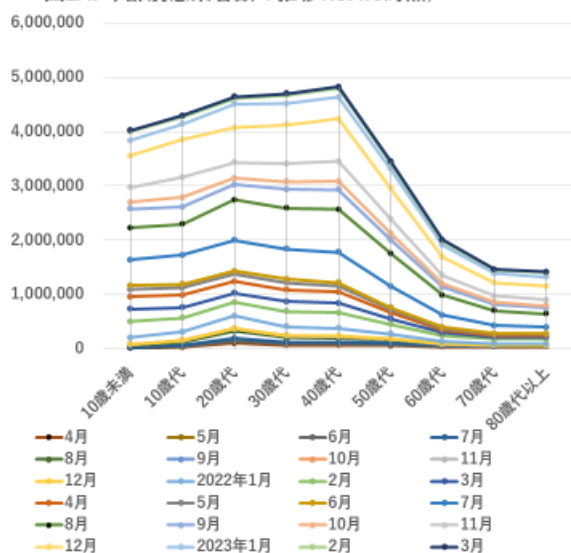


図2B. 年代階層別感染者割合 (R5.4.6時点)



図3. 高知県のCOVID-19月別患者数(上)と死者数(下) ~2023年3月31日

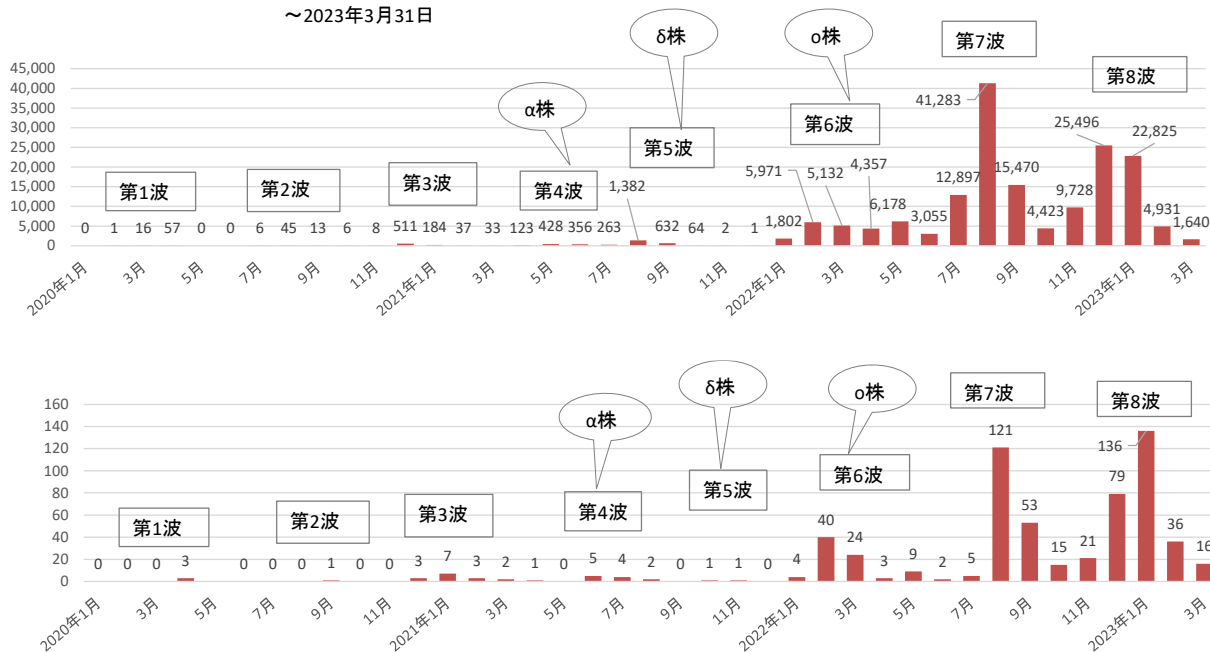


図4 高知県COVID-19患者の年齢別比率

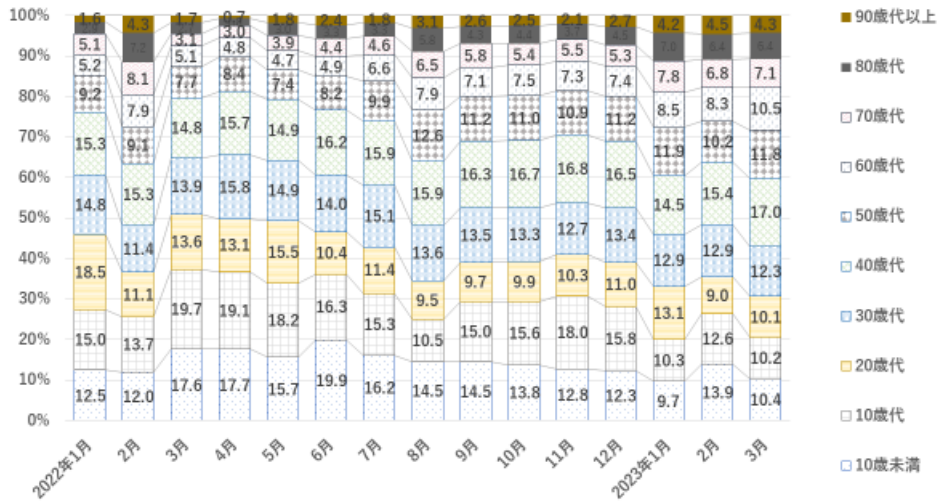


図5. 県下のCOVID-19集団発生件数

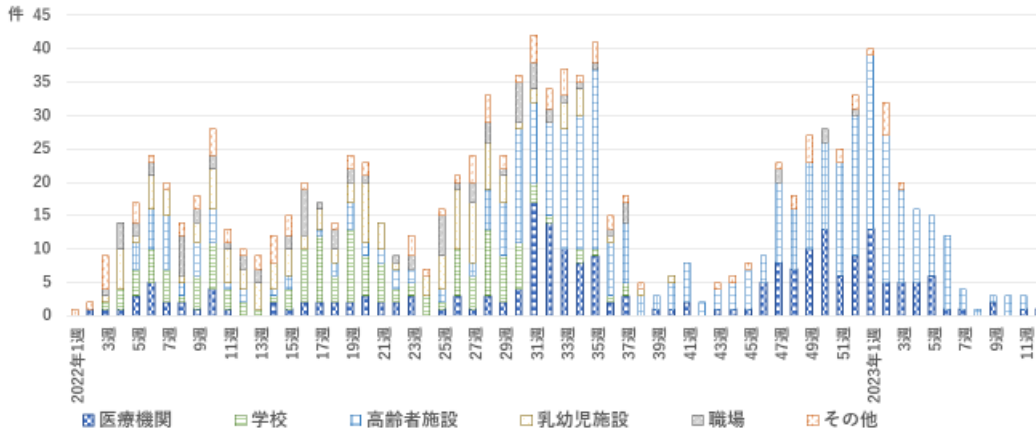
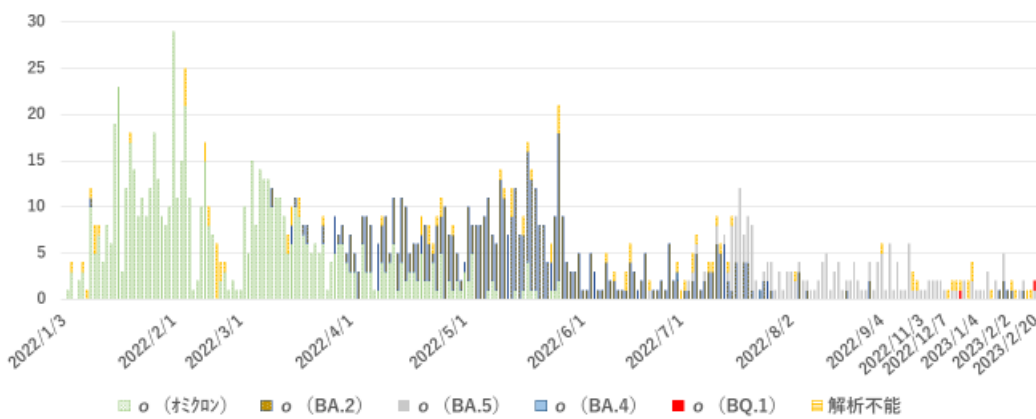


図6. 高知県で検出されたウイルス変異株の内訳



2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

3. 主な疾患の発生状況

1) インフルエンザ

報告数 1,055名 (2月 1,817名)。統計がある1998年以降で初めて、2020/21～2021/22シーズンは流行がなかったが、2022/23シーズンは3年ぶりの流行となった。流行規模は過去10年では8番目(コロナ前と比べて最少)で大きな流行とはいえないが4月上旬時点でまだ流行持続しており、今後の動向を注視したい。都道府県別では、岩手県、富山県、石川、新潟県が多く(定点当たり報告数が82～92)が、高知県は定点当たり23.45で、少ない方か

ら数えて7番目である。県下全域から報告されており、高知市、中央東、中央西が特に多かった。AH3型ウイルスが1月11件と2月6件が、3月には9件が検出されており、AH3が流行株である。

2) 咽頭結膜熱

報告数 16名(2月 3名)。同時期としては平年なみの報告数である。須崎、高知市、中央東、幡多から表記の順に多く報告された。その他の診断の患者からAdenovirus 1型が1件検出された。

3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 48名(2月 37名)。増加傾向にあるがコロナ前と比べるとまだ少ない。須崎以外の県下全域から報告されたが、安芸と高知市が特に多かった。細菌は検出されていない。

4) 感染性胃腸炎

報告数 560名(2月 787名)。先月よりも減少し、コロナ前と比べると少ない。県下全域から報告があったが、特に多かったのは須崎、幡多、高知市である。ウイルスは、その他の患者からNorovirus GⅡが1件検出された。

5) 水痘

報告数 7名(2月 4名)。本年1月以降は、同時期として過去10年間で最少の報告で推移している。中央西、高知市、中央東、幡多から報告された。

6) 手足口病

報告数 29名(2月 24名)。例年は5-6月に流行が始まるが、2022年は遅れて8月に流行が始まり、だらだらと続いているが流行規模は大きくない。須崎と高知市から報告された。Coxsackievirus A6が手足口病の患者から3件、その他の患者から1件が検出されている。

7) 伝染性紅斑

報告数 0名(2月 3名)。2020年9月以降は一桁の少ない報告数が続いている。

8) 突発性発疹

報告数 28名(2月 22名)。想定内の変動である。

9) ヘルパンギーナ

報告数 27名(2月 0名)。2022年は8月から流行が始まったが規模は小さく、過去10年間で最も小さな流行だった。3月は27名報告されており、これが例年よりも早い流行の始まりなのかどうか注目される。高知市と中央西から報告された。ウイルスは検出されていない。

10) 流行性耳下腺炎

報告数 2名(2月 0名)。2020年10月から2022年1月まで同時期として過去10年で最少が続き、さらに、2022年7月～2023年2月も最少の報告数が続いた。高知市から2名が報告された。

11) RSウイルス感染症

報告数 32名(2月 30名)。コロナ流行開始後の2021年は夏の大流行となり、10月に終息した。2022年は、7月から流行が始まり前年に比べると緩やかに増加し、11月に減少に転じたが、1月に再増加し2月は減少、3月は横ばいでまだ終息していない。須崎以外から報告があり、幡多が特に多かった。ウイルスは検出されていない。

12) 流行性角結膜炎

報告数 0名(2月 2名)。2019年以降は一桁の報告数で推移している。

13) 細菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)

報告数 0名(2月 0名)。従来は年間10名前後の報告数で推移していたが、2017年6名、2018年5名、2019年2名、2020年4名、2021年6名、2022年6名と少なめで推移している。

14) 無菌性髄膜炎(基幹定点の報告疾患)

報告数 0名(2月 0名)。従来は年間20-30名台の報告数で推移していたが、2017年7名、2018年1名、2019

年5名、2020年2名、2021年も3名、2022年は1名、2023年も今のところ報告がない。

15) マイコプラズマ肺炎（基幹定点の報告疾患）

報告数 2名（2月 2名）。高知市から2名報告された。

基幹定点の月報疾患

16) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 30名（2月 24名）。大きな変動はないのだが、同時期として最も多い報告数だった。高知市、中央東、幡多から報告された。

17) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名（2月 1名）。2015年以降は、年間0～2名の報告にとどまっている。

高知県感染症発生動向調査部会

前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患（令和5年3月）

類型	病名	報告月			総計
		1月	2月	3月	
2	結核	3	4	5	12
4	サル痘			1	1
	重症熱性血小板減少症候群	1	1	1	3
5	アメーバ赤痢	1			1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1		1	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	1		5	6
	水痘（入院例に限る）	1			1
	播種性クリプトコッカス症			1	1
	梅毒	5	3	5	13
総計		14	8	20	42

高知県感染症情報 月報 (62定点医療機関)

2023年 3月

定点名	疾病名	保健所							計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
内科・小児科	インフルエンザ	13	299	626	77	28	12	1,055	1,817		
小児科	咽頭結膜熱		2	10		3	1	16	3	20	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	4	26	1		7	48	37	20	
	感染性胃腸炎	15	111	198	35	65	136	560	787	387	
	水痘		2	3	1		1	7	4	12	
	手足口病			18		11		29	24	1	
	伝染性紅斑								3		
	突発性発疹	1	5	16	2	3	1	28	22	27	
	ヘルパンギーナ		3	24				27			
	流行性耳下腺炎			2				2		5	
	RSウイルス感染症	1	1	2	2		26	32	30	2	
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎								2	1	
STD	性器クラミジア感染症		1	8				9	6	3	
	性器ヘルペスウイルス感染症										
	尖圭コンジローマ										
	淋菌感染症										
基幹	細菌性髄膜炎									1	
	無菌性髄膜炎										
	マイコプラズマ肺炎			2				2	2		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限り)			1			1	2	1	2	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1	28			1	30	24	27	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								1		
	薬剤耐性緑膿菌感染症										
計		40	429	964	118	110	186	1,847	2,763	508	
前月		119	699	1,247	294	189	215				
前年同月		40	85	201	31	57	94				
小児科定点数		2	7	9	2	2	5				

高知県感染症情報 月報 (62定点医療機関)

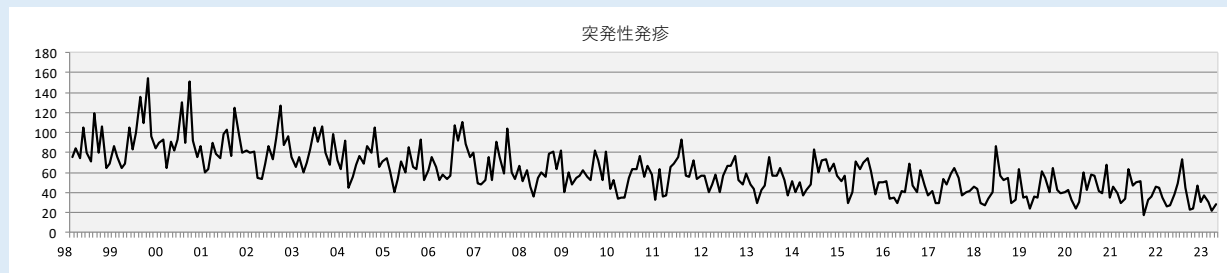
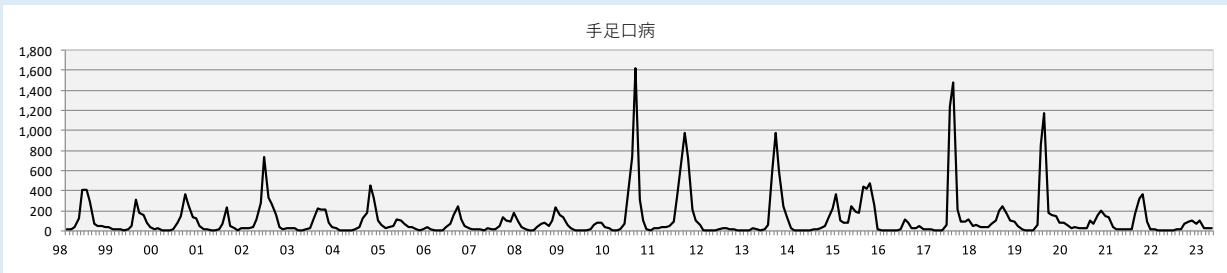
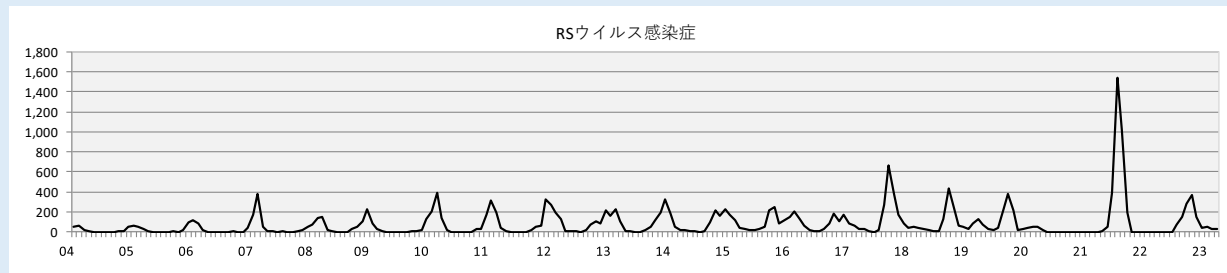
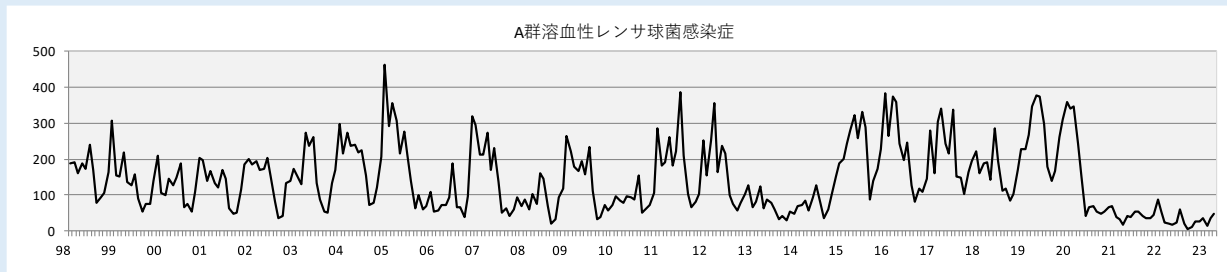
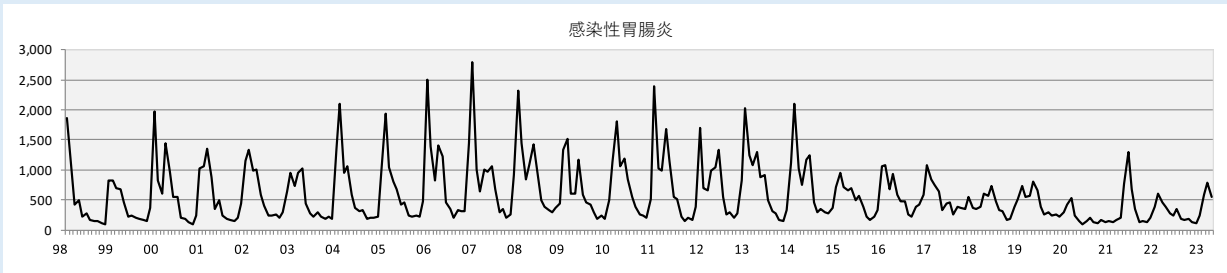
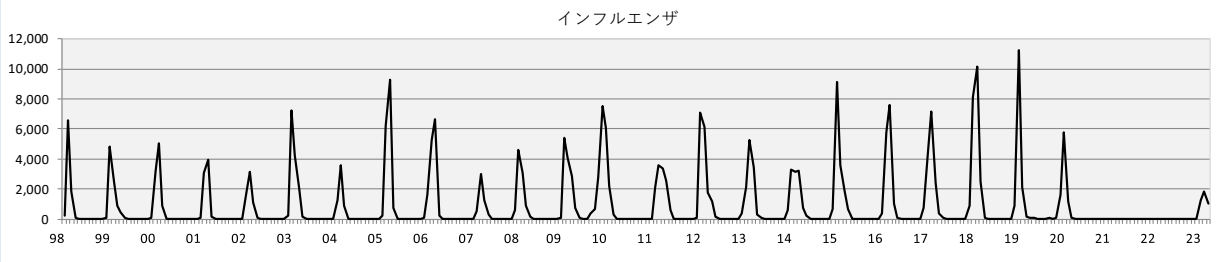
2023年

3月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ	3.25	27.18	44.72	19.25	7.00	1.51	23.45	40.38	
小児科	咽頭結膜熱		0.28	1.11		1.50	0.20	0.60	0.11	0.71
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5.00	0.57	2.89	0.50		1.40	1.79	1.38	0.71
	感染性胃腸炎	7.50	15.87	21.99	17.50	32.50	27.20	20.74	29.14	13.82
	水痘		0.28	0.33	0.50		0.20	0.26	0.15	0.43
	手足口病			2.00		5.50		1.07	0.89	0.04
	伝染性紅斑								0.11	
	突発性発疹	0.50	0.71	1.77	1.00	1.50	0.20	1.04	0.83	0.96
	ヘルパンギーナ		0.43	2.67				1.00		
	流行性耳下腺炎			0.22				0.08		0.19
	RSウイルス感染症	0.50	0.14	0.22	1.00		5.20	1.18	1.11	0.08
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎								0.67	0.33
STD	性器クラミジア感染症		0.50	4.00				1.50	1.00	0.50
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ									
	淋菌感染症									
基幹	細菌性髄膜炎									0.13
	無菌性髄膜炎									
	マイコプラズマ肺炎			0.40				0.26	0.26	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)			0.20			1.00	0.26	0.13	0.26
	メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		1.00	5.60			1.00	3.75	3.00	3.38
	ペニシリン耐性肺炎 球菌感染症								0.13	
	薬剤耐性緑膿菌感 染									
小児科定点分計		16.75	45.46	77.92	39.75	48.00	35.91	51.21	74.10	16.94
前月		45.50	72.74	101.50	81.00	68.75	40.11			
前年同月		20.00	11.43	19.85	10.32	28.50	17.40			

注目される疾患別月別推移



高知県感染症情報 (月報)
2023年3月

検査情報

ウイルス, 細菌の分離状況

令和5年3月はウイルス30件の搬入があり、そのうちウイルス22件の病原体を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus 1 1件、Coxsackievirus A6 4件、Coxsackievirus B5 1件、Epstein-Barr virus 1件、Human herpes virus 6 3件、Human herpes virus 7 2件、Influenza virus A H3 NT 9件、Norovirus GII NT 1件であった。

ウイルス, 細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	8	女	インフルエンザ	38℃,	ぬぐい液	2/24	Influenza virus A H3 NT
2	4	男	インフルエンザ	40℃,咳嗽,	ぬぐい液	2/27	Influenza virus A H3 NT
3	10	女	インフルエンザ	40℃,咳嗽,	ぬぐい液	2/27	Influenza virus A H3 NT
4	6	男	インフルエンザ	40℃,咳嗽,	鼻腔ぬぐい液	2/28	Influenza virus A H3 NT
5	6	男	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	ぬぐい液	3/1	Influenza virus A H3 NT
6	1	男	伝染性紅斑	発疹,	ぬぐい液	3/6	Epstein-Barr virus
7	11か月	女	手足口病	39℃,発疹,	ぬぐい液	3/7	Coxsackievirus A6
8	8	女	インフルエンザ	39℃,	ぬぐい液	3/8	Influenza virus A H3 NT
9	1	女	手足口病	発疹,	ぬぐい液	3/11	Coxsackievirus A6
10	5	男	インフルエンザ	39℃,	ぬぐい液	3/13	Influenza virus A H3 NT
11	4	女	インフルエンザ	38℃,	ぬぐい液	3/17	Influenza virus A H3 NT
12	1	女	手足口病	39℃,嘔吐,	ぬぐい液	3/18	Coxsackievirus A6
13	2か月	女	急性上気道炎	38℃,上気道炎,	ぬぐい液	3/19	Adenovirus 1
14	6か月	女	不明発疹症	咳嗽,発疹,	ぬぐい液	3/20	Human herpes virus 6
15	6	男	急性肝炎	嘔吐,腹痛,肝機能,	ふん便	3/20	Norovirus GII NT
16	3	男	-	41℃,咳嗽,	ぬぐい液	3/22	Human herpes virus 6
17	10	男	インフルエンザ	39℃,咳嗽,	ぬぐい液	3/24	Influenza virus A H3 NT
18	3か月	男	-	39℃,肝機能,	ぬぐい液	3/25	Coxsackievirus B5
19	3	男	不明発疹症	38℃,発疹,	ぬぐい液	3/27	Coxsackievirus A6
							Human herpes virus 6
							Human herpes virus 7
20	4	女	-	40℃,咳嗽,	ぬぐい液	3/27	Human herpes virus 7

病原体検出状況

臨床診断名	病原微生物	2022年		2022年 総計	2023年			2023 年総計	
		1月	12月		1月	2月	3月		
インフルエンザ	Influenza virus A H3 NT				10	6	9	25	
	Rhinovirus		1	1				0	
	計		1	1	10	6	9	25	
咽頭結膜熱	Adenovirus 2		1	1				0	
	計		1	1				0	
感染性胃腸炎	Adenovirus 41					1		1	
	Astrovirus NT		1	1				0	
	Norovirus GII NT				3	11		14	
	Sapovirus genogroup unknown		3	3				0	
	計		4	4	3	12		15	
手足口病	Coxsackievirus A6				1		3	4	
	Human herpes virus 7		1	1		1		1	
	計		1	1	1	1	3	5	
伝染性紅斑	Epstein-Barr virus						1	1	
	計						1	1	
その他	Adenovirus 1		1	1			1	1	
	Adenovirus 41				1			1	
	Coxsackievirus A6						1	1	
	Coxsackievirus B5						1	1	
	Cytomegalovirus		2	2				0	
	Human herpes virus 6		3	3			3	3	
	Human herpes virus 7		2	2		1	2	3	
	Influenza virus A H3 NT					1		1	
	Norovirus GII NT					2	1	1	4
	Respiratory syncytial virus A		1	1				0	
	Respiratory syncytial virus B		1	1			1	1	
	Rhinovirus			6	6		1	1	
計			16	16	4	4	9	17	
総計		1	22	23	18	23	22	63	

※2022年2月～11月までは感染症発生動向調査を中断しております。

類型	病名	報告年																						総計			
		1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020		2021	2022	2023
2	結核									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	12	1960
	計									131	149	163	156	192	132	128	138	129	122	110	97	103	60	65	73	12	1960
3	コレラ	1					1						1														3
	細菌性赤痢	11	4	2		3	1	2	2											2							27
	腸管出血性大腸菌感染症	11	8	18	15	2	10	9	3	25	4	19	12	3	8	3	5	2	34	2	4	9	1		3		210
	腸チフス			1								1							1			1					4
	バラチフス	2																									2
	計	25	13	20	15	5	12	11	6	25	4	19	13	3	8	3	5	3	34	4	4	10	1	0	3		246
4	A型肝炎	3	5	3	2	4	2	1	4	1			3						3	1			2				34
	E型肝炎												1		1								2	1		1	6
	オウム病				1		1														1						3
	Q熱	1	1	2				1																			5
	サル痘																										1
	重症熱性血小板減少症候群																3	11	3	7	5	5	9	6	4	8	3
	つつが虫病			9	5	2	4	5	7	6	2	5	4	2	5	8	3	3	4	11	2	3	3	1	5		99
	デング熱												1				3	2	1			2					9
	日本紅斑熱	15	3	14	7	14	13	10	3	1	6	6	7	15	4	1	7	4	13	6	13	10	23	16	12		223
	日本脳炎	1	1	1					1			1	1														6
	マラリア								2						1							1					4
	レジオネラ症		2		1		1				9	7	3	6	9	2	4	4	3	6	9	7	8	8	8		97
	レプトスピラ症											1	4	2	1					1							9
	計	20	21	26	12	23	21	19	16	4	20	19	18	31	24	13	27	15	28	30	29	36	41	29	34	4	560
5	アメーバ赤痢		2	2	2	1	2	2	2	1		3	2	2	3		7	3	2	5	3	3		1	5	1	54
	ウイルス性肝炎	11	4	3	5	2	2	3	5	5	4	3	3			3		1		2	1	1	2	2	2		64
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症																7	19	21	22	21	20	10	5	12	2	139
	急性弛緩性麻痺																				1	2					3
	急性脳炎								1	1	2	5	1	3	1		1	1	1	1	2	1	1	2			24
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	4		4	3	3		6		1	3				2			2	1	1	3	1			36
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1	1	1				1		1		1	3		1		3	5	6	2	2	5	4		37
	後天性免疫不全症候群	2		2		2	4	2	3	6	3	3	2	3	3	2	7	6	9	6	9	1	6				87
	ジアルジア症		1	2	1						1			1	1							1					8
	侵襲性インフルエンザ菌感染症																1	5	3	4	7	3	1	1	3	2	30
	侵襲性肺炎球菌感染症																1	4	12	16	18	14	22	11	9	6	6
	水痘（入院例に限る）																	2	1	1	3		3	3	3	1	17
	髄膜炎菌性髄膜炎										1																1
	梅毒	2	3	4	4	12	9	6	27	6	5	5	2	4	10	8	4	11	12	23	19	20	35	96	51	13	
	播種性クリプトコックス症																			1	3	5			4	1	14
	破傷風		3	2	2	1		1	1	2	3	1	1	1	1		4	3	3	1		2	3	1	3		39
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症			1							1							1		1	1						5
	百日咳																										392
	風しん									1	1				4	9	1					173	172	35	3	9	19
	麻疹										5											3					5
	計	16	14	21	15	23	20	17	39	29	25	23	14	15	29	20	40	63	72	94	268	251	112	127	111	26	1484
新型	新型インフルエンザ																										34
	新型コロナウイルス感染症																										662
	計																										34
	計																										663
	計																										3505
	計																										135792
	計																										139993
動物	鳥インフルエンザ														1												1
	計														1												1
	総計	61	48	67	42	51	53	47	61	189	198	258	201	242	193	164	210	210	256	238	398	400	877	3726	136013	42	144244